

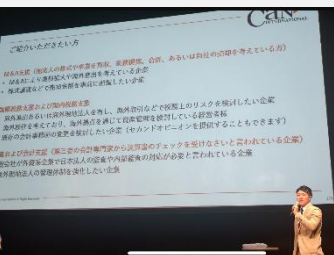
CaN International Group

各種セミナー・研修会開催のお知らせ

アスティーダエグゼクティブサロン

弊社がスポンサーを務める琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社が主催する『アスティーダエグゼクティブサロン 2024 in 沖縄』が開催され、弊社メンバーが参加しました。

ピッチイベントでは弊社の野口賢太郎が登壇し、弊社の特徴・強みをアピール。3日間で約1,200名の方が参加し、参加者同士の交流もあり、大活況のうちに終了しました。



公認会計士協会東京会研修会

日本公認会計士協会東京会海外在留会員ネットワークPT主催の『企業の海外事業を支える日本人公認会計士の活躍の可能性ーベトナム・ホーチミン視察報告ー』で、弊社の大久保昭平がファシリテーターを務めました。

パネリストには、実際に視察ツアーに参加した会員をお招きして、海外における公認会計士業務の魅力について、パネルディスカッション形式で活発な議論が展開されました。



最新の各国動向

JETRO 2024年度版

『海外進出日系企業実態調査』公表

日本貿易振興機構(JETRO)は、2024年11月28日、2024年度『海外進出日系企業実態調査(アジア・オセアニア編)』を公表しました([リンクはこちら](#))。

本調査は、アジア・オセアニア地域の20カ国・地域に進出する日系企業に対して、現地での活動実態に関するアンケート方式で実施されました(調査実施時期2024年8月～9月、有効回答5,007社、有効回答率36.5%)。

下記に調査報告書の内容をまとめましたので、是非こちらもご参考にしてください。

【調査報告書サマリー】

○**2024年の営業利益の黒字割合は前年調査62.4%から65.8%に上昇**。景況感は多くの国・地域で大幅に改善されており、特にインドで現地需要の増加により押し上げられ2008年以降で最高となった。一方、中国は2013年以降で最低となっている。

○事業拡大意欲は現地市場ニーズの拡大により、インドで高水準が続き、中国、タイで後退している。

○**直近5年間での他国・地域からの生産機能の移管はベトナムが最多となっている**。日本や中国からベトナム、タイ、インドネシアなど、ASEANへの移管が顕著であり、移管理由としては地域共通でコスト競争力向上を挙げる企業が多く、ASEANへの移管理由としては日本の人員不足、チャイナリスクの回避、現地需要の増加が挙げられた。

(JETRO報告書をもとにCaN Internationalが作成)